令和5年度 江戸川区立第二葛西小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標

じょうぶな子 思いやりのある子 考える子 やりぬく子 *重点:自ら進んで取り組む

目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像

保護者・地域の理解と協力を得て、子どもたちに確かな力を育み、信頼と誇りのもてる学校 自分から進んで確かな学力、豊かな心、健やかな身体を身に付け高めようと取り組む子ども より質の高い授業、教育活動をめざし、子どもに寄り添い、子どもの喜びや悲しみを自分の喜びや悲しみにできる教師

前年度までの学校経営上の 成果と課題

<成果>・感染症に配慮しつつ、教育活動、学校行事を展開することができた。 ・安心で安全な学校づくりに向けた取組を進めることができた。 ・積極的な情報発信に努めることができた。 ・教職員が連携・協力しながら教育活動、学校運営を展開することができた。

<課題>・一人一人の課題に応じて基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組を充実させる。
・一人一人の課題に応じて基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組を充実させる。
・不登校や配慮が必要な児童等への対応をより一層組織的に取り組んでいく。
・学校と家庭との連携・協働をより一層推進する。
・教職員の働き方改革、校務の効率化をより一層推進する。

教育委員会	<取組項目> ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた
重点課題				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	改善策
学力の向上	〈学力の向上〉 ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・週1回の全校一斉朝学習の実施 ・学校と民間による放課後補習の実施 ・5、6年社会、理科での教科担任制や各学年での交 換授業等の実施 ・低学年からの学習習慣の確立と基礎学力の系統的 か会成なか31と む組の推進	・学力を高めようとしているという児童90% 以上 基礎的な力を身に付けているという保護者 85%以上 ・学力向上の活動が充実しているという教員 85%以上	A	В	・全校一斉朝学習、放課後補習、教科担任制、交換授業などを計画的に実施した。 学力を高めらとしているという児童は82% ・基礎的な力を身に付けているという保護者は80% ・授業の工夫がされているという教員は89%	В	・学力向上の成果は時間のかかることであるが、ねばり強く取組を進めてほしい。 ・家庭との連携も大きなボイントになってくるのではないか。保護者と連携・協力できるような工夫ができるとよい。	教育活動が展開できるよう工夫、配慮を 進める。
	< 読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・学校図書館スーパーパイザーによる指導を取り入れた「調べる学習」の実施 朝読書及び毎週30分間の読書活動の実施 ・地域図書館との連携の充実	・本をよく読むという児童70%以上 ・子どもは本に親しんでいるという保護者6 0%以上 ・読書科が計画的に行われているという教 員80%以上	В	С	・調べる学習、読書活動などを計画的に進めた。 ・本をよく読むという児童は53% ・本に親しんいるという児童は者は39% ・読書科が計画的に行われているという教員は89%	В	・パソコンを使うことが多い中、本に親しむ機会を充実させていくことはとても大切である。 生涯にわたって活字を読む、親しむような人に育ってほしい。	・スーパーバイザーによる指導を継続し、調べる学習を定着させる。 ・図書館活用の機会を拡充し、本に親しむ活動の充実を進める。
	<ict機器を活用した教育活動の充実>・タブレット端末を活用した授業の充実・校務の効率化の推進</ict機器を活用した教育活動の充実>	・タブレット端末を活用した指導事例の蓄積及び整理・タブレット活用スキルの育成・タブレット活用スキルの育成・校務の一層の効率化、ペーパーレス化の推進	・タブレットを使った学習が楽しいという児童 90%以上 ・タブレット端末の活用が進められていると いう保護者80%以上 ・17で活用した授業が行われているという 数員90%以上	A	В	・タブレットを活用した授業が日常的に行われ、児童も一定のスキルを身に付けている。 ・タブレットを使った学習に取り組んでいるという児童は8 5% ・タブレットの活用が進められているという保護者は63% ・「CTP 活用した検索が行われているという教員は86%	В	ても意識を高めてほしい。	・タブレットの活用をさらに進め、個別の 線の充実などにつなげていく。学習の履 歴の活用などを試みていく。 ・校務の効率化、ペーバーレス化を引き 続き推進する。
体力の向上	(運動意欲や基礎体力の向上>・ ・運動意欲の向上や健康の推進に向けた 取組の実施・改善・充実	・毎週30分間の全校運動遊び及び元気アップタイム の実施 ・学校隣接の公園を活用した遊び場の拡充 ・アスリートによる授業やバラスポーツ体験の実施	・体力を高めようとしているという児童90% 以上 ・子どもはよく身体を動かしているという保護 者60%以上 ・体力向上に向け活動が充実しているという 数員85%以上	В	В	・全校運動遊び、元気アップタイム、バラスボーツ体験など を計画的に進めた。 体力を高めようとしているという児童は85% ・よく身体を動かしているという保護者は63% ・体力向上への活動が充実しているという教員は77%	В	・児童数が1000人近い状況で、学校のみで 運動の機会を充実させたり、体力を高めたりと いうことは難しいのではないか。家庭や地域と の連携も進めてはどうか。 ・子どもたちが健康で健やかに成長してほし い、	に、児童が自ら体力向上に取り組む環境 整備を進める。なわとびをはじめ多様な 運動に取り組む機会を祐実していく。 ・保健指導、歯の健康にかかわる取組な レを布案させていく。
共生社会の実現 に向けた教育の 推進	、特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充 家	・おおぞら学級での指導の充実 ・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、エンカ レッジルームの活用、日本語指導員や日本語教室と の連携 ・副籍交流及び通常の学級と特別支援学級の交流 の充家	・配値を要する児童への支援が適切だという教員80%以上 ・ スタールカウンセラーが効果的に活用されているという教員85%以上	A	В	・おおぞら学級で教職員が連携して充実した教育活動を 進めた。 ・関係教職員が連携し、児童の支援を進めた。 ・配慮を要する児童への支援が適切だという教員は77% ・スクールカウンセラーが効果的に活用されているという教 員は89%	В	・おおぞら学級での指導がさらに充実し、子どもたちがよりよく成長してほしい。 ・いろいろな子どもたちの指導に教員も大変だと思うが、一人で抱え込むことのないような形で進めてほしい。	一人一人に応じた指導・支援を充実させるとともに、さまざまな交流の機会をより 一層設定していく。特別支援学級と通常の学級との多様な交流を充実させていく。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hypaer-QUの活用	・QUテストや各種アンケートによる児童の実態把握と それに基づく指導の推進 ・友だちのよさを見つける取組の推進 ・低学年からの基本的生活習慣の系統的な育成をめ ざした取組の推進 ・スクールガウンセラー、スクールソーシャルワーカー シの連集権化	・進んであいさつをしているという児童85% 以上 ・子どもは約束やきまりを守って生活してい るという保護者85%以上 ・いじめや不登校解消に向けた取組が組織 的に行われているという教員95%以上	В	В	・各種アンケート等を指導・支援に生かすことができた。 ・関係機関等との連携を進めることができた。 ・進んであいさつをしているという児童は79% ・子どもはきまりを守って生活しているという保護者は84% ・いじめ、不登校解消に向けた取組が組織的に行われて いるという教員は88%	В	・不登校の子どもたちが増えていると聞く。保 護者の考え方も多様になってきているものと 思われる。学校だけで対応できる時代ではな いように感じる。 ・元気なあいさつが聞かれるような活気のある 学校であり続けてほしい。	・いじめの早期発見、早期対応を徹底し
	<豊かな心の育成> ・特別活動や道徳を中心とした豊かな心の育成の推進	・委員会活動や係・当番活動、異学年交流などの充実 ・展覧会の実施などによる豊かな感性、情操の育成	・当番や係をしっかりやっているという児童9 0%以上 ・子どもの友人関係は良好であるという保護 者90%以上	А	A	・委員会活動や異学年交流などを計画的に進めた。展覧 会はとでも充実したものとなった。 ・当番や係をしつかりやっているという児童は88% ・安心して学校に通っているという保護者は92%	A	・子どもたちの心を育てることが基本中の基本 である。自分の役割を果たすような経験を重 ねるなどしてほしい。	・自分の役割などに自ら進んで取り組む 意欲を高めていく。 ・豊かな情操の育成をめざして音楽会を 実施する。
地域に広く開か れた学校(園)の 実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校のホームページの毎日の更新・年3回の土曜参観の実施	・学校の様子がわかりやすく伝えられている という保護者90%以上	A	A	・ホームページの毎日更新、土曜参観の充実を進めた。 ・学校の様子がわかりやすく伝えられているとおう保護者 は88%	A	・ホームページを毎日複数回更新していただくなどとてもよい取組である。引き続き発信を 充実してほしい。	・学校公開、ホームページの充実を図る などして情報発信の充実に努める。
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係 者評価の実施	・学校評価の一環として行う児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施 ・運動会等の行事への保護者アンケートの実施と公問	・保護者アンケートの回答率80%以上	Α	В	・学校評価や行事のアンケートをWEBで実施し、より率直 な声を把握することができた。しかし、保護者アンケートの 回収率は紙で実施していたときよりも低下した。	А	・保護者、地域の声を受け止めながら学校運営、教育活動を進めているととらえている。引き続き率直な声を聴いていってほしい。	・学校評価を活用し、学校運営、教育活動のPDCAサイクルをより一層機能させていく。
	<安心・安全な学校づくりの推進> ・自分の身体、命を自分で守る力の育成	・さまざまな災害を想定した訓練の実施 ・警察等と連携した交通安全教室、セーフティ教室、 薬物乱用防止教室などの推進	・健康や安全に気を付けて生活しているという児童90%以上 ・防災、防犯、交通安全の取組が適切に行われているという教員95%以上	A	A	・防災防犯などにつながる訓練等を計画的に実施した。 ・健康や安全に気を付けているという児童は90%、安全に 気を付けているという児童は88% ・防災等の取組が適切という100%	A	としての機能も充実していく必要がある。 行政 や地域との連携が重要である。	・自分の自分の命、身体を守る力をさらに 育んでいく。
	実 ・地域を愛する心の育成	・幼稚園、保育園、中学校との多様な交流の拡充 ・ふるさと裏西、江戸川区について学ぶ機会の充実 ・PTAやおやじの会によるイベントの再開・充実	・行事が適切に進められているという保護者 95%以上 ・地域について学ぶ機会が充実していると いう教員80%以上	A	A	・幼稚園、保育園との交流を拡充し、250名近い園児が来校して1年生と交流するなどした。 さまざまな機関との交流やゲストティーチャーの招聘などを進めた。 ・行事が適切という保護者は96%	A	・地域の幼稚園や中学校とさまざまな形で交流していくことはとてもよいことである。地域の 方々からの学校への期待も高まっていくと思 われる。・PTA、おやじの会も活用してほしい。	・幼稚園・保育園や中学校との交流を引き続き充実させていく。 ・地域で学ぶ機会や地域のゲストティー チャーを招いた学習などをさらに推進していく。
特色ある教育の展開	く取組の実施	・月2回の定時退勤日の設定 ・会議等の効率化、組織改革の一層の推進 ・ペーパーレス化の一層の推進	・全教職員の月残業時間55時間以下 ・時間外勤務の縮減に努めているという教 員80%以上	Α	В	・より効率的で効果的な職務遂行が意識され残業時間の 縮減が進んでいる。 ・時間外勤務の縮減に努めているという教員は89%	A	・教職員が心身ともに健康で教育活動、学校 運営にあたることができるようお願いしたい。	・業務の効率化をさらに取り組んでいくと ともに、時間外勤務の縮減をさらに推進 する。
	<教員の資質・能力の向上> ・教員研修の充実	・一人一人の教職員のニーズに応じた研究・研修の 推進 ・若手教員の組織的な育成	・全教員の年2回の授業公開の実施・資質・能力の向上に努めているという教員 80%以上	Α	В	・全員が授業を公開する研究・研修、計画的な若手研修 の実施などを進めることができた。 ・資質・能力の向上に努めているという教員は89%	A	・若い教職員が増えている中、その育成は大変だと思うがよろしくお願いしたい。	教職員間での授業公開、協議の場などをさらに充実させていく。若手教員の育成を充実する。